

令和5年度 第【 2 】学年 教科【 家庭科 】 担当【 柳岡 まゆ 】

1 学習目標

実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに家庭の機能について理解を深め、課題を持って生活をよりよくしていこうとする能力と態度を育てる。住まいの基本的な役割について理解し、様々な生活によって住まい方の工夫があることを知る。家庭内事故の種類や原因を知り、安全な住まい方を工夫する。災害に備えて、室内を安全に整備する必要性や方法について理解する。毎日の食事に関心を持ち、簡単な日常食の調理ができる。食品や調理の安全、衛生について理解し、実践できる。生鮮食品や加工食品の特徴や表示方法、保存方法について知る。日常の生活に必要な小物を工夫し、製作する技術を身に付ける。消費生活の仕組みを知り、よりよい消費生活を送るための消費者としてのあり方を考える。

2 使用教科書・教材

開隆堂 技術・家庭 「家庭分野」

3 学習内容および学習時期の目安

	単元名	学習内容（教科書項目名）
1 学期（4～7月）	住生活 布物の製作	住まいの働きと心地よさ 安全な住まい 生活を豊かにするものの製作
2 学期（8～12月）	布物の製作 食生活	製作 様々な食品とその選択 日常食の調理 持続可能な食生活
3 学期（1～3月）	消費生活	家庭生活と消費 購入・支払いと生活情報 消費者被害と消費者の自立

4 評価規準およびその方法

	評価規準	評価項目・方法
知識・技能	住居の基本的な機能や家族の生活と住空間とのかかわりについて理解している。家庭内の事故の防ぎ方など、家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。自然災害への事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。製作するものに適した材料や縫い方について理解している。また、用具を安全に扱い、適切に製作することができる。食品の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに適切に選択できる。肉、魚、野菜に適した加熱の仕方について理解しているとともに基礎的な日常食の調理が適切にできる。地域の食文化について理解している。物資とサービスについて理解し、購入方法や支払い方法の特徴がわかる。計画的な金銭管理の必要性について理解している。売買契約の仕組みについて理解できる。物資やサービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。消費者被害の背景とその対応について理解している。消費者の基本的な権利と責任について理解している。自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	定期考査 ワークシート 作品 作業時の安全 道具の使い方・ 片づけ方
思考・判断・表現	住生活について問題を見出して課題を設定している。社会や環境を配慮し、家族の安全を考えた住空間の課題について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。資源や環境に配慮し、生活を豊かにするため物の製作計画や製作について問題を見出し、解決策を構想し、実践を評価、改善し考察したことを論理的に表現している。食品の選択について問題を見出して課題を設定し、その解決策を構想し、実践を評価、改善し、考察したことを論理的に表現している。社会や環境に配慮した食生活について問題を見出して課題を設定し、考え、工夫している。物資やサービスの購入について問題を見出して課題を設定している。設定した課題について解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。自立した消費者としての消費行動について問題を見出して課題を設定している。自立した消費者としての消費行動について解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	定期考査 ワークシート 作品の表現
主体的に学習に取り組む態度	住居の機能と安全な住まい方について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして生活を工夫し創造し、実践しようとしている。よりよい生活の実現に向けて生活を豊かにするための製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返ったりして生活を工夫、創造し、実践しようとしている。食品の選択について、課題の実践に主体的に取り組む、よりよい生活の実現に向けて、食品の選択について振り返って改善し、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。よりよい食生活を目指して食事の役割や栄養、献立、	ワークシートの 記述内容 実習中、授業中の様子 実習、授業の振り

	<p>調理などについて工夫し、創造し、実践しようとしている。</p> <p>物資やサービスの選択と金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして生活を工夫し創造し、実践しようとしている。計画的な金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして生活を工夫し創造し、実践しようとしている。消費者被害の対応について課題の解決に主体的に取り組み、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>	<p>返り 定期考査 作品の進度・ 提出期限</p>
--	---	--